

夏祭り

DO YOUR BEST

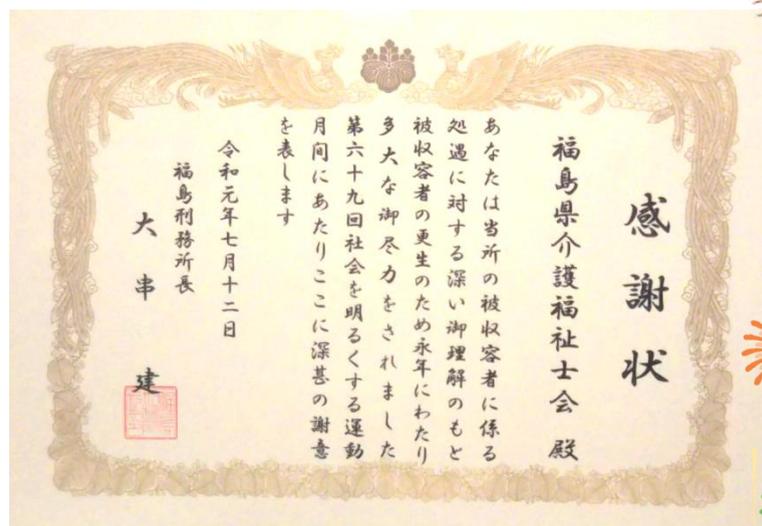
NO. 199

介護福祉士

2019.8 発行

一般社団法人
福島県介護福祉士会
文責 小山田 米子

【福島刑務所より感謝状を頂きました】



平成28年4月に女子施設地域支援モデル事業福島刑務支所に係わる説明会に出席しました。概要を伺い介護福祉士として支援できることを社会に貢献できればという想いで3年間介護を必要としている受刑者への介護支援と認知症予防支援を行ってきました。会員7名の協力を得まして遂行することができました。その功績が認められ今回の感謝状の授与となりました。ここに会員の皆様にご報告致します。私たちは、貴重な経験と人権の尊重、人としての尊厳を学ぶことができました。

FUKUSHIMA

一般社団法人 福島県介護福祉士会

〒963-0108 福島県郡山市笹川一丁目184-29 クレストハイツ184 102号室

FAX 024-943-1848 E-Mail jaccw_fukushima@ybb.ne.jp

ホームページ <http://www7b.ne.jp/~jaccw-fukushima/>



いんふおめーしょん



おまつり



ケア・リハビリ研修会

日時: 令和1年10月26日(土)12時30分～受付17時
10月27日(日)9時受付～12時

会場: 県立公園 松川浦・岩子浜
日出づる眺望の宿 晴風荘



介護職種の技能実習指導員講習

日時: 令和1年11月23日(土)8時30分～17時

会場: 国際医療看護福祉大学校



心を癒す草木



皆さん、会津の三ノ倉高原ひまわり畑をご存じでしょうか？前回のこちらのコーナーでも少し触れていましたが、会津盆地を一望できる三ノ倉スキー場のゲレンデを利用し、春には菜の花が、夏にはひまわりが咲いています。今年もひまわりがきれいだったと行った方に聞いて、私も早速、出向いてみました。少し坂を登ると見晴らしの丘から眼下に広がる黄色の花のじゅうたんは、とてもキレイでした。たくさんひまわりが、太陽に向かって同じ方向に咲き誇っている姿は、圧巻でした。見晴らしの丘には、「幸福の鐘」が設置されており、きれいな鐘の音も響き渡っています。菜の花の時期にもぜひ訪れてみたいと思いました。

帰りは、喜多方といたら、もちろんラーメン！私も、喜多方ラーメンを食べて帰路につきました。



編集後記

お盆も過ぎて、もうすぐ9月ですね。いわきの夏の風物詩として「じゃんがら念仏踊り」があります。伝統芸能で鉦、太鼓を打ち鳴らしながら新盆を迎えた家などを供養して廻る踊念仏です。お盆前になると練習している鉦の音が聞こえ、夏がきたと感じます。先日、地元の女子高校生が施設に慰問にこられ「じゃんがら念仏踊り」を披露してくれました。亡くなったご家族を偲んで涙する利用者様や、女子高生の踊りに感動し拍手が止まらない利用者様がいました。今後も地元の伝統芸能や、地域交流の絆を大切にしていきたいです。皆さまの施設ではどのように地域交流されていますか？



【リレーフォーライフジャパン2019福島】

県北方部 五十嵐 稔

福島県介護福祉士会県北方部として、8/11・8/12にあづま総合運動公園体育館にてリレーフォーライフジャパンへ参加してきました。今回で、第10回目の開催となり介護福祉士会県北方部としての参加は7回目の参加となりました。具体的な活動として、8/11の15時から8/12の12時まで夜通し歩くリレーイベントへの参加です。私たちは5チームに分かれ、各担当時間を決めリレーをつなぎました。日中は、ダンスなどのイベントがあり、賑やかな雰囲気があります。夜間は灯りを消してのナイトウォークで、日中とは違い、物静かな環境でのリレーとなります。時間を重ねるごとに疲労も少しずつ蓄積されていきますが、夜明けの朝日が会場を包み込むと不思議と力が湧いてきました。今後も、活動への参加を予定していますので、もしも、参加ご協力いただける方は県北方部までお知らせください。



【であい・ふれあい交流会開催しました。】

8月22日(木)、二本松市にある男女共生センターを会場に、方部委員会主催にて、であい・ふれあい交流会を開催し、ヨガを行いました。

次回は、10月17日(木)倫理委員会主催で、作品づくりを予定しております。

お楽しみに！



【倫理委員会より】

倫理



ある日、ある施設での排泄介助時のこと…

朝の排泄介助時、入居者A様が多尿失禁しており、衣類まで漏れて濡れていた。職員BがA様に「こんなにたくさん漏れるまで気が付かなかったのですか、今度漏らした時はすぐに職員に言ってください。」と伝えた。翌朝以降も毎朝失禁は続き、そのたびにA様は「ごめんなさい、申し訳ありません」と言い項垂れていた。

数日後の朝、汚染されたパットを居室の棚にしまい込んでいた。職員Cは「パットを汚したら隠さずに職員へ言ってください。」と伝えた。

その日から、A様は職員が入居者様と話している姿を見ると、「私の悪口を言っている」「わたしは皆に嫌われている」「私はここにいいのか」等の訴えが聞かれるようになる。

ここでようやくA様への不適切な対応についてケースカンファレンスが開催され、一連の経緯について協議された。

日々の仕事に追われるうちについ忘れがちになるものが、「倫理観」ではないだろうか。職員の何気なく言った言葉に不安を募らせ、職員へ抱いた不信感が妄想や幻覚の引き金になる。認知機能の低下を自ら自覚し、落ち込み不安が倍増する。もっと早くにA様の「思い」に寄り添うことができていれば、心に傷を負わせるのではなく、A様の自信につながるような支援ができたのではないだろうか。



【第6回 いわき市在宅医療推進の為の多職種研修会に参加して】

いわき方部 丹内美樹男

私が参加するのは2回目でした。

今回は、午前9時から午後4時頃まで、昼食時の休憩等を挟んだとはいえ、久しぶりの座学中心の研修に、普段の仕事とは違う疲れを覚えました。

認知症関連や在宅ケアについてご講義頂き、一つの事例を基に、KJ法での課題抽出を協働で行う中で、各々の専門性に基づいて活発な意見を交わし、作り上げていく行程を通して、普段の業務やケアの中で行い横の連携や協働等、今の仕事の中で生かしているのか等を振り返りつつ、日々の業務やケアに追われ流され気味の今日この頃、自らの専門性をなす根幹を思い起こし、自身のあり方について考える機会にもなり、有意義な研修となりました。



【在宅医療関連事業報告会に参加して】

いわき方部 和田広美

いわき医師会は、いわき市と協同し『在宅医療推進多職種研究会議』をもうけ多職種連携による在宅医療の推進を図っています。7月31日、在宅医療関連事業に関わる多職種の方の会合が行われ介護福祉士会として参加し、多職種の方と意見交換を行いました。在宅医療を支えていくためには、多職種の方がそれぞれの立場でしっかり関わっていく事、しっかり連携する事が大切であると改めて実感しました。多職種の方と交流し新たな繋がりもでき、とても有意義な時間となりました。



福祉人材確保推進プロジェクト事業「介護に関する入門的研修」を始めます。

福島県介護福祉士会では、これまで介護に関わりがなかった方・介護未経験の方が介護に関する基本的知識を身に付け介護の業務に携わるうえで知っておくべき基本的な技術を学ぶことができる研修です。

詳細については、福島県介護福祉士会事務局までお問い合わせ下さい。





【会津方部 勉強会】
～災害時における介護食について～

会津方部 増井里美

令和元年7月26日 会津稽古堂にて、南相馬市(株)伊藤商店 治療食担当介護食アドバイザー課長 大戸貴弘様による「災害時における介護食」をテーマに勉強会が開催されました。

東日本大震災から8年が過ぎた現在でも、日本各地で地震・津波・火山・自然災害・異常気象(線状降水帯・大雪・竜巻・洪水・落雷)など災害が続いています。

そこで、私達は災害に備えて、**自助**「自分の身は自分で守る」**共助**「自分達の地域は自分たちで守る」**公助**「自助・共助に足りない部分を行政機関が補う」考えを持ち災害に備えることが必要であることを学びました。同時に南海トラフ巨大地震対策の最終報告によると、家庭で1週間以上の水や食量の備蓄が必要とされていることも学んだ上で、「常温で保存できる食品を、そのままもしくは簡単な調理で必要な栄養を摂る。」という考えでゼリー食【なめらか食】を教えてくださいました。

【調理実習】

①焼きそば～市販のカップヌードルを湯で戻してから、再度、湯とゲル化剤を使用しミキサーで混ぜる。ボールに水を溜め生クリーム絞り器で流し込む事で、ゼリー食として焼きそばの形態や味も変わらず、焼きそばが出来上がる。

※冷やし中華も同様の方法で作ることができる。

②おかゆ～市販のレトルト商品のおかゆを使用。おかゆに湯を入れてゲル化剤をミキサーで混ぜて糊状にする。冷凍保存ができ温度調整ができる。

80度以上にすると、「デロン・デロン」冷めると「プルン・プルン」になる。

水分を調整することで「餅」に近い物にもなる。

③サバの蒲焼～さばの缶詰めに、缶詰めの汁とゲル剤をミキサーで混ぜる。混ぜた物をラップの上に乗せて形を整える。冷凍庫で5分寝かせ固まった状態の物をバーナーで焼き目を付けて切ると、サバの切り身に変身する。※ゲル剤は、70℃～80℃のポットの湯で溶かす。





大戸貴弘先生からのお話は、実際に災害に遭われた経験を元に、とても分かりやすい実習をさせて頂きました。いざ災害が発生した時に「咀嚼・嚥下機能の低下された皆様に簡単で栄養の確保ができる調理法」を是非お試しください。

【サービス提供責任者研修を開催しました】

令和1年7月9日～8月19日の間での6日間、サービス提供責任者研修を開催しました。研修内容としては、事業所内で部下を指導、教育する方法として、①訪問介護計画に基づく仕事の仕方、②ケアチームのあり方、③スーパービジョンを行いました。

参加者の研修を終えての感想

- ・チームとして何を目標とするか、ビジョンを抱き、それを共有することが大事と実感した。
- ・スタッフ間で統一したケアの考え方をもち、利用者様へサポートしていきたいと強く思った。
- ・伝えることが出来る、サービス提供責任者になりたい。
- ・色々学んだ中で、サービス提供責任者としての役割と重要性が見えました。
- ・自分自身の知識不足が多く、何が足りないのか、自分を見直す良い機会になりました。

